

2013年3月期 第2四半期決算説明会資料
(2012年4月1日～2012年9月30日)



株式会社アイフリーク

人々の想いが伝わる・繋がる・広がる
Entertainment・Convenience・Benefit
新たなコミュニケーション文化の創造

2012年11月19日
代表取締役会長兼社長 永田 万里子

はじめに

経営体制について(代表取締役の異動)

< 目的 >

- ・通期業績予想の下方修正を発表したことを、真摯に受け止め、経営責任を明確化し、新たな経営体制の下で業績の早期回復を図るため
- ・平成25年4月1日を目途として持株会社体制へ移行に向けた準備のため、創業者である永田万里子が、自ら指揮をとって進めるため

< 異動の内容 >

新役職名	旧役職名	氏名
代表取締役会長兼社長	取締役会長	永田 万里子
取締役	代表取締役社長	伊藤 幸司

< 異動年月日 >

平成24年11月9日

業績予想の修正及び持株会社体制への移行については、後記記載

目次

Section.1	2013年3月期 第2四半期業績概要及び重要報告事項	4 ~
Section.2	当社を取り巻く市場環境	9 ~
Section.3	2013年3月期 上期の取り組み	12 ~
Section.4	2013年3月期 下期の取り組み	19 ~

この配付資料に記載されている業績目標等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績等は、この配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

Section. 1

2013年3月期 第2四半期業績概要及び重要報告事項

2013年3月期 第2四半期業績概要

『上期重点取り組み』

収益基盤構築のための積極的な投資

損益計算書

単位:百万円

	当第2四半期 〔自 2012年4月 1日 至 2012年9月30日〕	前第2四半期 〔自 2011年4月 1日 至 2011年9月30日〕
売上高	739	1,102
営業利益	164	132
経常利益	168	123
四半期純利益	175	82

キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	当第2四半期 〔自 2012年4月 1日 至 2012年9月30日〕	前第2四半期 〔自 2011年4月 1日 至 2011年9月30日〕
営業活動によるキャッシュ・フロー	144	123
投資活動によるキャッシュ・フロー	142	261
財務活動によるキャッシュ・フロー	71	101

貸借対照表

単位:百万円

	当第2四半期 2012年9月30日	前期 2012年3月31日
資産の部		
流動資産	1,141	1,228
固定資産	463	512
資産合計	1,613	1,740
負債の部		
流動負債	287	532
固定負債	385	248
負債合計	673	781
純資産の部		
純資産合計	940	958
負債純資産合計	1,613	1,740

(注) 前期及び当期連結掲載

2013年3月期 第2四半期重要報告事項

：業績予想の修正

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想	3,111	0	0	0
今回修正	1,642	386	396	481
増減額	1,469	386	396	481

< 修正理由 >

- ・モバイルコンテンツ事業において、フィーチャーフォンからスマートフォンへの会員基盤の移行は順調におこなえているが、収益構造の変化への対応が遅れているため。
- ・Eコマース事業において、大幅なモデルチェンジを図っていることに伴って、収益化が遅れているため。
- ・持株会社体制へ移行に向けた準備のための費用の発生、及び一部資産を取り崩すことによって、一時的に業績へ影響が及んでいるため。

2013年3月期 第2四半期重要報告事項

：配当予想の修正

単位：円

	年間配当金				
	第1四半 期末	第2四半 期末	第3四半 期末	期末	合計
前回予想 (平成24年5月15日発表)					
今回修正予想		0.00		0.00	0.00

< 修正理由 >

・業績予想の修正を踏まえて、中間配当金及び期末配当金を無配と修正させて頂きます。

< 今後の配当方針について >

・当社の経営成績及び財務状態に応じた利益還元策の実施を検討いたします。

2013年3月期 第2四半期重要報告事項

：持株会社体制への移行について

< 目的 >

当社を取り巻く各事業領域における市場環境が急激に変化している中で、企業価値の更なる持続的な向上を目指すため、現行の事業部制組織体制から持株会社体制への移行に向けた準備に入ることを、平成24年11月9日開催の当社取締役会において決議いたしました。

なお、持株会社体制への移行については、今後開催予定の当社臨時株主総会において、関連議案が承認可決されることを前提条件となります。

< 移行スケジュール >

平成25年4月1日を目途として移行準備中

株式会社アイフリーク
ホールディングス

コミュニケーションコンテンツ領域

ファミリーコンテンツサービス領域

物販事業領域

決済サービス領域

注：

ホールディングスが現在の当社となります。
社名は仮称です。

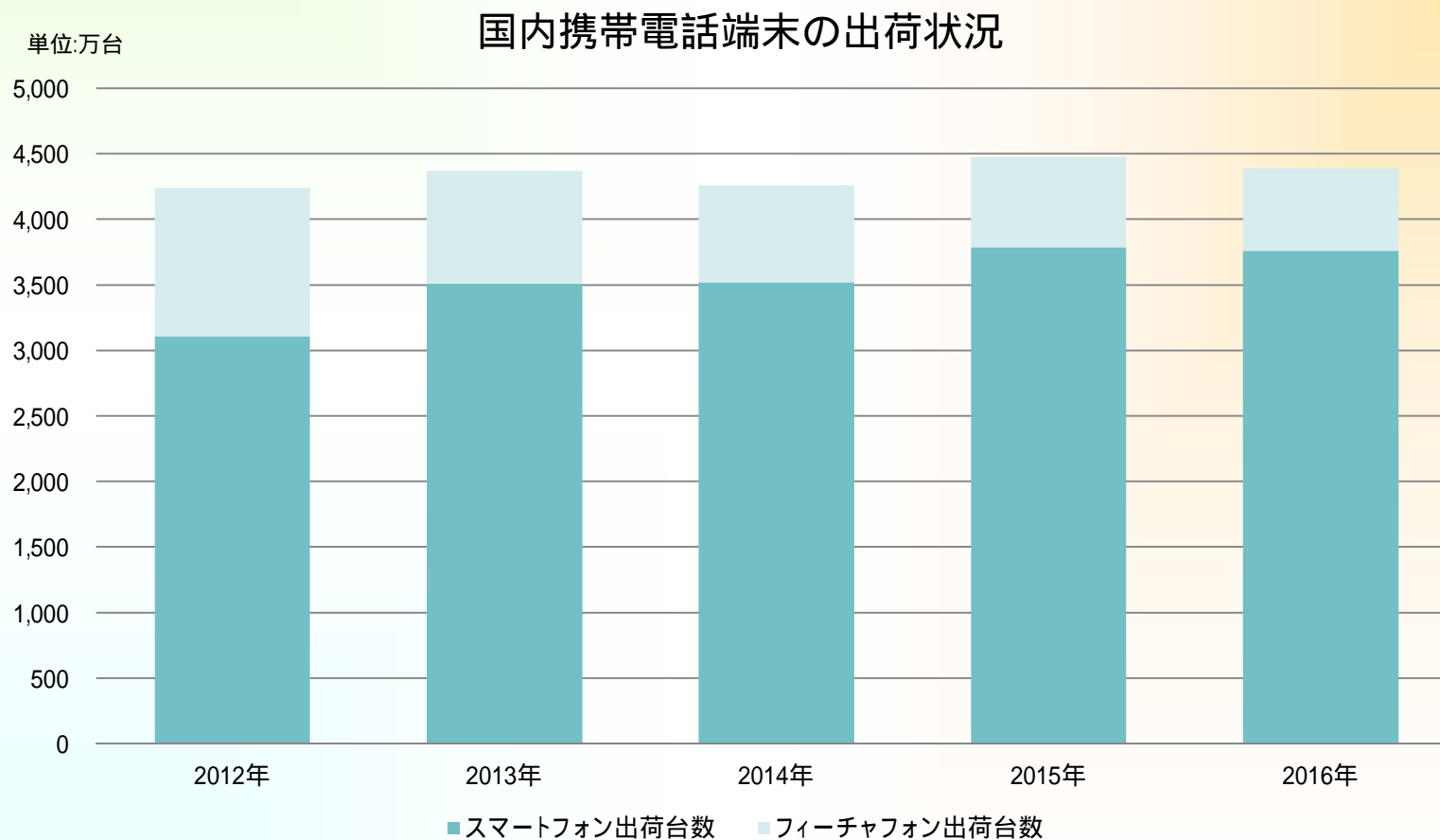
Section. 2

当社を取り巻く市場環境

市場データ スマートフォン出荷台数比率

2012年度上期総出荷台数に占めるスマートフォン出荷台数比率は69.4%

2016年度には80.0%以上を予測

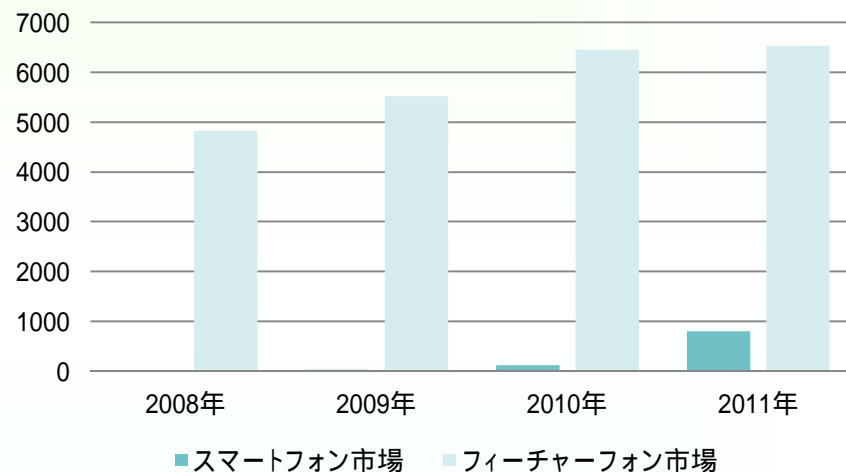


出典:「(株)MM総研[東京・港]」

市場データ スマートフォン市場

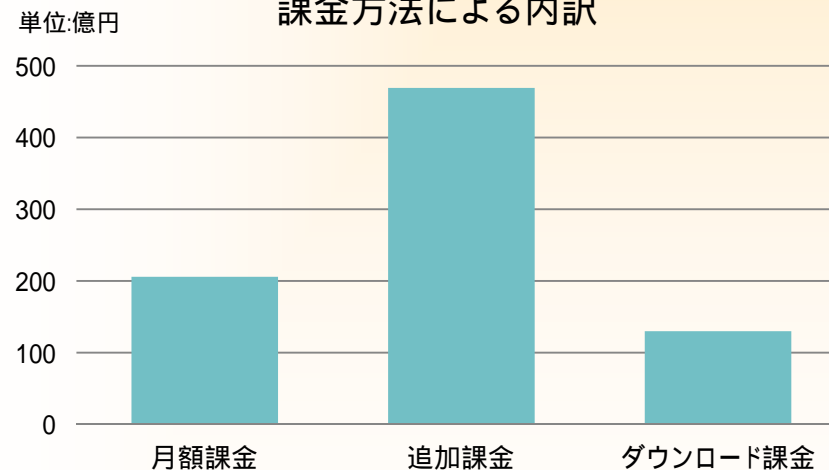
市場規模806億円
前年の123億円(参考値)と比べて655%と急拡大

単位:億円 スマートフォン市場とフィーチャフォン市場



課金方法は半数以上を
追加課金が占める

2011年スマートフォン市場
課金方法による内訳



- 1 月額課金: 月単位の定額課金によって、契約範囲内のアプリ/サービスが利用できる課金手法
- 2 追加課金: アプリ等のダウンロード等は無料で、アイテムなどを追加で課金する手法
- 3 ダウンロード課金: アプリ等のコンテンツをダウンロードする際に料金を徴収する課金手法

出典: MCF

Section.3

2013年3月期 上期の取り組み

コンテンツサービス事業

“スマートフォン市場での会員基盤の構築”



デコメ販売ストア「DecoSTORE」7月にニューアルオープン
auスマートパスにデコメサイト「デココレ」の提供開始
全世界へ向けて、写真加工アプリ「photodeco」リリース！

リリース2ヶ月で全世界累計**10万DL突破!!**



PICVO事業

“親子市場に強い電子書籍プラットフォーム
に向けてユーザー基盤構築”



作品数は、遂に**200タイトル超え!**
ダウンロード数は**60万件突破!!**
「モバイルプロジェクト・アワード2012」

優秀賞を受賞!!

よしもとパパ芸人が子どもたちに作った

「パパコ絵本」の独占配信



ココゲー事業

“カジュアルゲームを
より楽しめる位置情報プラットフォームの構築”



総DL数は**250万を突破!!**早期開発できる体制構築
アプリ内のバナー広告を広告代理店を通じて販売開始
広告販売に向けたDL数は伸びているが、収益化の遅れ
によりサービス終了に向けて、リソース再配分を行う



Social Application Game

“「AFTER FIRE」スマートフォン版提供開始”



大手SNS「GREE」「Mobage」にて、博報堂との共同事業として、4月よりスマホ版サービス開始。

「2012 AUTOBACS SUPER GT」をシリーズスポンサーに、よりリアルな世界観をユーザーに提供。



ECマースサービス

“PB商品ラインを強化し、ネットとリアルで販売”

女性の Happy Life を応援する
Cyber Beauty Station

Jewelpops
ジュエルPOP's

シンデレラ
ビューティ



Madre Body smooth salt

『マドレ』とはイタリア語で「母」という意味があり、お母さんのぬくもりのようにやさしい使い心地のマッサージソルトです。

バスタイムの
新習慣

スクラブ & 保湿
コレひとつでOK!!

一生ものの美容ソルト
使えばわかる納得感!!



当社PB商品ラインを強化し、インターネットでの販売をはじめ、大手バラエティーショップでの販売を促進し、ネットとリアル双方向での販売チャネル拡大に取り組む。

海外展開について (I-FREEK ASIA PACIFIC PTE.LTD.)

“海外マーケットへの展開”



海外版PICVOサービス開始
英語版、**70タイトル以上**の作品をリリース。
8月韓国語版オープン。作品数50タイトル展開！

世界中の絵本が読め、
世界のクリエイターの絵本が集まる
1,000万人規模の世界最大の
絵本流通プラットフォームへ。



決済サービス事業、8月より当社の一部サービスに
試験的に導入。今後、取引規模年間**100億円**を目指す。

Section.4

2013年3月期 下期の取り組み

2013年3月期 下期重点取組課題について

収益基盤構築に向けた集中的に投資

コミュニケーション
コンテンツ

スマートフォン市場
でのコンテンツ
収益基盤の構築

ファミリーコンテンツ
サービス

ファミリー層に特化
した会員基盤の
早期構築

物販事業

高収益商材である
PBの市場への
認知拡大

決済サービス

収益化に向けた
基盤構築

コミュニケーション
コンテンツ領域

ファミリーコンテンツ
サービス領域

持株会社体制に向けて
各事業領域での競争力強化

物販事業領域

決済サービス領域

世界市場に向け展開

2013年3月期 下期の取り組み

“持株会社体制に向けて各事業領域での競争力強化”

【コミュニケーションコンテンツ領域】

- ・スマートフォン市場での収益化基盤構築
- ・デコメ市場で培ったノウハウを活かし、新たなコミュニケーションコンテンツのパートナー企業とアライアンス強化拡大



2013年3月期 下期の取り組み

“持株会社体制に向けて各事業領域での競争力強化”

【ファミリーコンテンツサービス領域】

- ・親子ターゲットに集中したサービス展開
- ・電子絵本以外の分野においても確固たる地位を築く



2013年3月期 下期の取り組み

“持株会社体制に向けて各事業領域での競争力強化”

【物販事業領域】

- ・高収益商材である自然派・オーガニックコスメ系のマーケットシェアの拡大
- ・ネット通販で培った自社商流を軸にした、
提携モデルでのマルチチャネル化の推進



【決済サービス領域】

- ・早期収益化に向けた基盤構築

お問い合わせ先

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社アイフリーク 東京支店 経営企画ユニット IR担当

TEL:03-6743-3002 FAX:03-6743-3001

メールでのお問い合わせは弊社コーポレートサイトの問い合わせフォーム
(<http://www.i-freek.co.jp/contact/ir>)よりご連絡下さい。

本資料に関するお問い合わせは本社(福岡)ではお受けしておりません。
あらかじめご了承下さい。

本資料に記載の事項は発表日時点での最新情報となります。

各社の社名、製品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。

(注意) 本資料をご覧頂いた皆様は必ずご一読下さい。

本資料は株式会社アイフリークおよびグループ各社の事業展開を関係各位向けに説明する
補足資料であり、株式購入の勧誘を目的とした書類ではありません。

株式会社アイフリークの株式売買については、本資料と別に公開される適時開示情報(IR情報)をご確
認の上、ご自身の判断において投資行為を行われますよう、お願いいたします。

また、本資料に依拠して投資行為を行った場合の結果について、株式会社アイフリークは一切保証す
るものではありませんので、あらかじめご了承下さい。